

「地図帳好き？ 嫌い？」 この県知ってる？」

～12,000人の子どもたちの声から見えてきたもの～

Q. これは何県かな？

簡単。福島だ !!



富山県よ。

京都じゃ
ないかなあ。



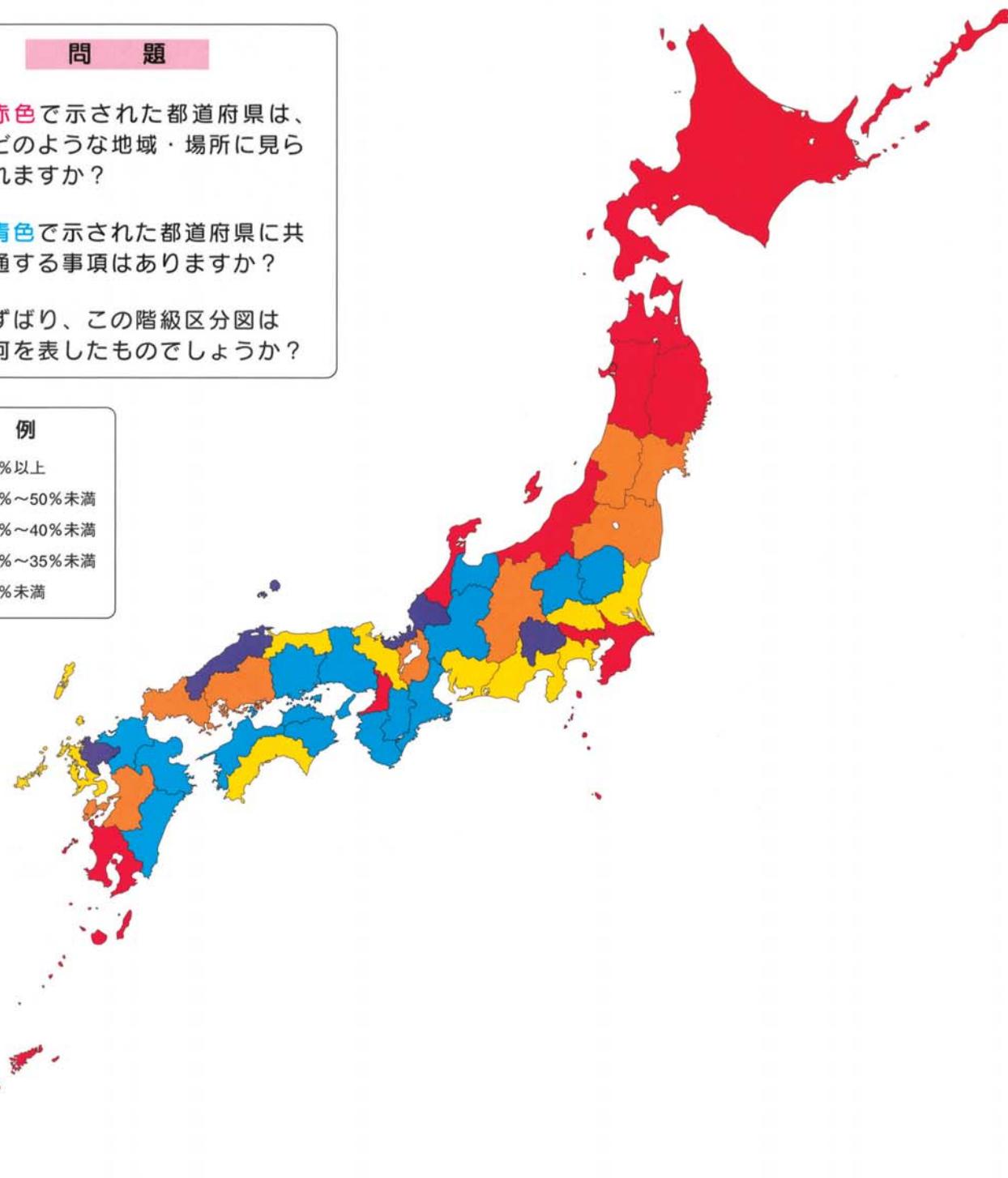
うーん、ちょっと違うなあ・・・

問 題

- Q 1. 赤色で示された都道府県は、どのような地域・場所に見られますか？
- Q 2. 青色で示された都道府県に共通する事項はありますか？
- Q 3. すばり、この階級区分図は何を表したものでしょうか？

凡 例

■	50%以上
■	40%～50%未満
■	35%～40%未満
■	30%～35%未満
■	30%未満



「こどもと地図」特別号 発刊のごあいさつ

(株) 帝国書院
地図・地理普及特別班

帝国書院内に地図・地理普及特別班（以下、普及班）という部署が設立されたことは、冊子「こどもと地図」で何度かご紹介させていただきましたので、すでにご存じの先生方も多いのではないかと存じます。

普及班では、昨年の平成14年1月から3月（平成13年度の3学期）に、全国の小学生を対象に、地図帳に関するアンケート調査を実施いたしました。47都道府県（以下、県と略す。必要な場合は都道府県と表記）全部というわけにはいきませんでしたが、それでも、全国42の都道府県の約140校、約540クラス、約12,000人の子どもたちにご協力いただき、回答を得ることができました。

内容的には、地図帳に対する意識調査と、4～6年の各学年において、各県の名前とその位置をどれほど認知しているかという調査の2本立てで実施いたしました。

そのアンケートを集計し、分析した結果の一例が、左ページにある階級区分図です。

この階級区分図は、全国の小学生の県認知度の高低を表すものです。この場合、認知度が高い県とは、「名前、位置とともにきちんと把握されている」県ということです。この区分図では、赤系統で彩られた県ほど認知度が高いことを示しております。つまり北海道や新潟県、沖縄県などは、全国の子どもたちにその名前と位置を正しく認知されている県といえます。

この冊子は、これらアンケートの分析結果を、報告するためには作成いたしました。分析結果の報告だけにとどまらず、結果を踏まえた上での地図指導や県名指導のありかたについても言及しております。

この冊子が、先生方のご指導の一助になれば幸いに存じます。

また、最後になりましたが、このアンケートにご協力いただきました学校の先生方と子どもたちに、この場を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。

平成15年4月